

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部地域療育センター	評価対象年度	令和2年度
事業者名	事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 代表者名 成田 哲夫 住 所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	<p>【地域支援事業】</p> <p>○全利用者数4,551名(前年度:4,021名)</p> <p>○新規相談者数602名(前年度:599名)</p> <p>【外来療育事業】</p> <p>○外来診療科延利用者数2,171名(前年度:3,100名)</p> <p>○外来評価・訓練延利用者数6,131名(前年度:7,202名)</p> <p>【通園事業】</p> <p>○定員90名(児童発達支援40名・医療型児童発達支援40名・短時間児童発達支援10名)</p> <p>○契約児数133名(児童発達支援108名・医療型児童発達支援19名・短時間児童発達支援6名)</p> <p>前年度数135名(児童発達支援104名・医療型児童発達支援23名・短時間児童発達支援7名)</p> <p>○延利用数7,139人(児童発達支援5,625名・医療型児童発達支援1,316名・短時間児童発達支援198名)</p> <p>前年度数7,038人(児童発達支援5,048名・医療型児童発達支援1,725名・短時間児童発達支援265名)</p>																																										
収支実績	<table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td>支出</td> <td></td> <td>収支差額</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>324,651千円</td> <td>人件費</td> <td>353,499千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給付費収入</td> <td>143,271千円</td> <td>事務費</td> <td>89,569千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰入金収入</td> <td>26,441千円</td> <td>事業費</td> <td>13,387千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,757千円</td> <td>固定資産</td> <td>555千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>拠点間区分繰入</td> <td>41,111千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>498,120千円</td> <td>合計</td> <td>498,120千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	0円	指定管理料	324,651千円	人件費	353,499千円			給付費収入	143,271千円	事務費	89,569千円			繰入金収入	26,441千円	事業費	13,387千円			その他	3,757千円	固定資産	555千円					拠点間区分繰入	41,111千円			合計	498,120千円	合計	498,120千円		
収入		支出		収支差額	0円																																						
指定管理料	324,651千円	人件費	353,499千円																																								
給付費収入	143,271千円	事務費	89,569千円																																								
繰入金収入	26,441千円	事業費	13,387千円																																								
その他	3,757千円	固定資産	555千円																																								
		拠点間区分繰入	41,111千円																																								
合計	498,120千円	合計	498,120千円																																								
サービス向上の取組	<p>・0歳から18歳までの一貫した切れ目のない支援、地域性にも着目した保護者支援と地域支援、通園事業における療育事業を地域リハビリテーションの実績に基づき、さらに推進した。</p> <p>・通園において、法人事務局から療育経験のある担当主幹が定期的に会議へ参加し、療育場面への視察やアドバイスを受けることで、通園療育の質の向上に取り組んだ。</p>																																										

3. 評価 (評価段階: 5~1,標準: 3,加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症への対応を行いつつ、地域支援事業では、来所が困難な家庭には電話相談の実施や、新たに郵送を用いた相談支援を実施するなど、状況に即した支援を行った。また、利用者への説明会を配信により企画実施し、状況に応じて少人数による別開催での説明会を開催した。</p> <p>・保育所等の関係機関への個別訪問やカンファレンスを通して、当該施設の機能や役割を周知するとともに、利用児の就学等のライフステージの変わり目では、特に丁寧に各機関と調整を行い、継続して必要なサービスを利用できるよう取り組んだ。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・予算執行にあたり、法人事務決裁規定や経理規定に基づき適切に執行している。</p> <p>・消耗品費、保健衛生費については感染症対策として効果的に支出されている。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で利用者が登園や診察を控えたため、収入は予算額に達しなかったが、利用料や給付費等の請求は適切に実施されている。</p> <p>・監事による監査及び外部公認会計士の監査を受け、適切な会計処理がなされている。</p>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・地域包括ケアシステムを担う相談支援関連の研修や、4療育センターの支援技術を向上するための研修会に講師派遣を行っている。</p> <p>・地域ニーズに沿った保護者講座を実施し、その各講座内容に繋がりを持たせることで、こどもの発達全般が見えるよう工夫している。</p> <p>・児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所と定期的に連絡を取り、事業所での効果を日常生活面に汎化していけるよう支援課題を共有した。</p> <p>・親子通園の基本ルールを保ちながらも、保護者の就労や疾病の状況に応じた柔軟な単独通園の受入れを行う等、保護者のニーズに適切に対応した。また、懇談会、学習会、個人面談などを行い、利用児だけでなく、家族の精神的な安定を担保できるよう支援を行った。</p> <p>・学習支援の場において、参加児童の対人構築やコミュニケーションスキルの向上を目的として、レクリエーション活動を適宜取り入れている。</p> <p>・令和元年度より、外来診療枠を月20回から月26回に増設し、診療枠の確保・待機時間の短縮による、障害の早期発見・治療に取り組んでいる。</p>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	2	2
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・職員の欠員については、職種ごとに年度内で補充する仕組みを作ったが、職種によっては欠員の解消ができなかった。 ・研修計画に基づき研修、講師派遣、技術支援などを積極的に行うことにより、各専門職の評価・支援・伝達技術の質の向上に取り組んだ。外部研修については、動画配信やWEB形式の受講により、前年度より受講人数が増加している。 ・上半期において、再発防止策が徹底しておらず、個人情報に関する事故が複数件発生した。下半期においては、検討委員会の設置や研修を行うことで、再発防止や職員の意識改革に取り組んでいる。 ・時間休の取得について試行を開始した他、育児休業や育児時間を定め、子育てしやすい環境づくりとなっている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	4	4
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整備、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・施設・設備の保守管理については、必要に応じて調整・整備を行った。 ・外来診療事業では、レセプト作成業務について、適宜医療アドバイザーを交え、適切な対応を行った。 ・法令等に基づいた必要な記録については、法人の規定に則り適正に保管している。					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0

4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・関係機関や地域との連携を積み重ねることにより、0歳から18歳までの相談・診察・評価・訓練等を行う専門施設としての機能や役割を広めるとともに、職員研修に積極的に取り組み、体制強化等を進めた。
- ・地域ニーズの増加や多様化が進む中で、地域に根差したきめ細やかな支援を目標とした取組が行われた。
- ・保護者支援を充実させ、利用児を含めた家族が安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・関係機関や地域との連携及び丁寧な保護者支援については大いに評価できるため、個人情報に関する管理を徹底することにより、情報セキュリティ事故を未然に防止する仕組みを強化し、更なるサービス向上に取り組むこと。